

駅北遊び広場整備事業の配置修正について



【前回の平面図】

○前回案からの主な変更点

- ・コンテナから変更し、休憩・見守り・待機などの滞留機能を、基地建物や屋根付き園路に整理
- ・トイレトレーラーから変更し、日常利用しやすい多目的なトイレ機能を基地建物に集約
- ・屋根付き園路を通路だけでなく、休憩・見守り・催事時の滞留空間として活用
- ・大規模な親水施設ではなく、水や砂・石に触れられる小規模な遊びコーナーとして再整理
- ・東側は固定的な建築物を置かず、イベントやキッチンカー利用にも対応できる可変的な空間として整理

⑤ 水遊び場・砂場コーナー

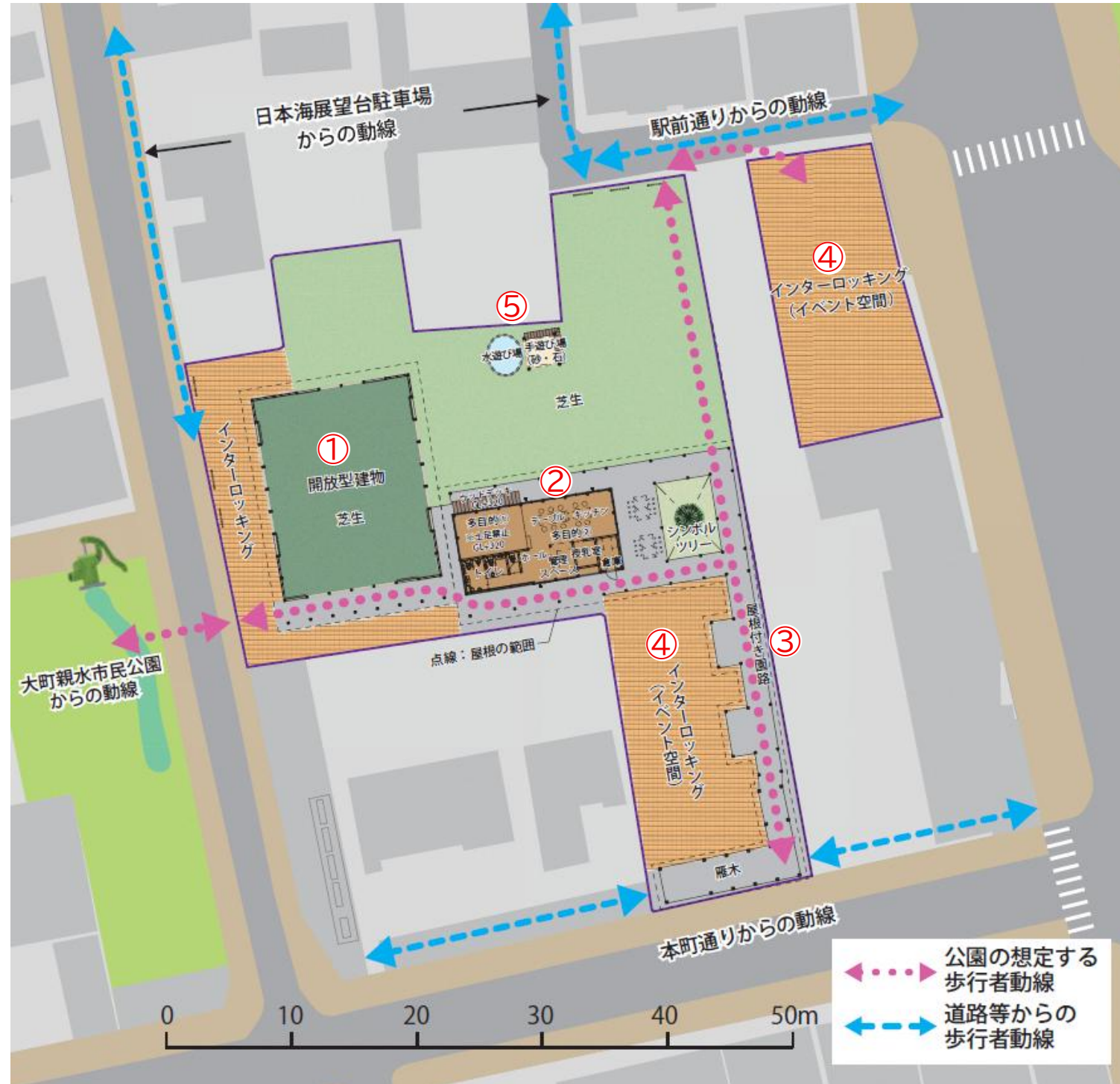
芝生広場と一体的に、水、砂、石などの自然素材に触れながら遊べる小規模な遊び場として整備します。

大規模な噴水施設ではなく、保護者が見守りやすく、季節に応じて柔軟に使える遊びのコーナーとして整理します。



施設コンセプト「駅北遊び広場 ～多世代がつながる まちなかの森ひろば～」

糸魚川の自然や駅北大火からの復興の歩みを踏まえ、子どもを中心に多世代が日常的に立ち寄り、遊び、滞在し、交流できる公共空間として整備します。大きく造り込み過ぎず、必要な機能を整理しながら、市民や団体とともに使いながら育てる広場を目指します。



※配置図以外の建物等のイラストは、配置図をもとに生成 AI で作成したイメージであり、実際の形状・仕様等とは異なる場合があります。

① 開放型建物

屋外遊びを支える中心的な屋根付き空間として整備します。木造を基本に、木のぬくもりを感じられる開放的な建物とし、雨天時や暑熱時の活動、休憩、見守り、交流に対応します。



② 基地建物

前回案の災害用トイレと基地機能を集約し、木造平屋の建物として整備します。

多目的に使えるトイレ、親子が靴を脱いで過ごせる滞在スペース、小規模なキッチン機能を備え、休憩・見守り・交流の拠点とします。

建物東側にはシンボルツリーを中心とした屋外滞在空間を設けます。



③ 屋根付き園路

単なる通路ではなく、休憩、見守り、待機、催事時の滞留にも使える軒下空間として整備します。前回案のコンテナスペースで想定していた機能の一部を取り込み、日常利用からイベント利用まで柔軟に対応します。

④ イベント空間（インターロッキング）

平常時は自由に使えるオープンスペースとして、催事時は地域活動や交流を支える空間として活用します。

インターロッキング舗装とし、屋根付き園路や東側空間と連携しながら、キッチンカーや小規模イベントにも対応できるよう検討します。



駅北遊び広場整備事業 概算工事費

1 市議会説明時（R8.2.28 現在）

(1) 概要 建築工事、遊具・土木工事、車両購入

(2) 概算工事費 約 4.5 億円

（内訳）

項目		金額	
建築工事（車両含む）		311,000 千円	
	開放型建物	154,000 千円	
	雁木工事	8,600 千円	
	基地（管理棟）	61,800 千円	→基地建物に移行
	コンテナスペース	（追加） 62,000 千円	→屋根付き園路に移行
	災害用トイレ（車両）	（追加） 24,600 千円	→基地建物に移行
遊具・土木工事		101,000 千円	
	飛び跳ね遊具	「エア遊具を設置」として全天候型	子ども遊戯場へ移行
	水遊び広場	近隣施設（大町親水市民公園、海望公園）との親水機能重複の解消	
	みはらしやぐら	基地と一体化	
	ベンチ、植栽、園路 等	57,500 千円	
	築山、整地 等	13,500 千円	
	共通仮設費	7,400 千円	
	現場管理費	14,800 千円	
	一般管理費	7,800 千円	
小 計		412,000 千円	
合計（税込）		453,200 千円	



2 市議会説明時（R8.9 現在）

(1) 概要 建築工事、遊具・土木工事

(2) 概算工事費 約 4.4 億円

（内訳）

項目		金額
建築工事		267,000 千円
	開放型建物	150,800 千円
	雁木工事	13,300 千円
	【修正】基地（管理棟、トイレ）	46,200 千円
	【新】屋根付き園路	56,700 千円
土木工事		135,900 千円
	飛び跳ね遊具	前回、見直し済み
	水遊び広場	
	みはらしやぐら	
	【修正】広場外構 （整地、植栽、床面舗装等）	125,900 千円
	【新】水遊び・砂場コーナー	10,000 千円
小 計		402,900 千円
合計（税込）		443,190 千円

※【共通仮設費】【現場管理費】【一般管理費】は各工事費に含む